

岡山 HOT-K ミーティング 新規格NA車両規則

参加する方々へ

軽四を使用し、少しでも多くの人にモータースポーツの楽しさを知ってもらべく、低コストで参戦できることが目標です。NAクラスは改造範囲をかなり制限しました。また初心者の方でもわかりやすいようにとレギュレーションはあえて簡潔に書いています。

中～上級者の方、車両を製作するプロショップの方は、このコンセプトを理解していただき、くれぐれも「レギュレーションに書いていない＝やってもOKだ」と解釈したり、一般の参加者がマネできない車両を持ち込んだりしないようお願いいたします。今後のイベント継続のため「大人の対応」をお願いいたします。モータースポーツを底辺から盛り上げるには、みなさんの協力が必要不可欠です。

□ 基本コンセプト まずはレースの概要を改めて紹介

1. ナンバー付き車両に限定
維持費の安い軽カーのメリットを最大限に活用。公式戦でいうところの「N-ゼロ」という区分です。レースや練習のたびに積載車を借りるより、よっぽど安上がりなはずです。
2. タイヤはラジアルに限定
Sタイヤは摩耗が早く価格も割高、さらに路面コンディションによりコンパウンドを変えないといけません。そこで全クラスともラジアルタイヤ限定とし参戦費用を抑えます。
3. エアコンを外すのは禁止
せっかくのナンバー付き、おまけに燃費もイイ新規格NAだから街乗りにも使ってもらいたい。ということは、快適性を損なうエアコン外しは当然ながら禁止です。
4. 当面は2クラスで開催
フレッシュマン／エキスパートの2クラスを設定し、それぞれ改造範囲で差別化します。もしも要望が多ければ将来的に改造範囲をさらに広げたクラスを増やすかも。
今回はAT車もこの2つのクラスの中で戦っていただきます。

□ エンジン系 基本ノーマルだが吸排気はお好みで

1-1 エンジン本体

純正部品の旋盤加工／溶接／研磨など機械加工は禁止。ピストンは純正スタンダードサイズに限り使用でき、排気量アップは認めません。カムシャフトなど部品の変更も同様です。また、エンジンを載せ換える場合、車検証で同一型式(構造変更が必要ない場合)なら気筒数や年式に関係なく認められる。

1-2 フライホイール

FM(フレッシュマン) 加工や変更は禁止します。
EX(エキスパート) 加工や変更を許可します。

1-3 エンジンマウント

エンジンマウントは無加工で変換できる製品に限り変更OKです。ただしエンジンマウント位置の変更などはすべて認められません。

1-4 ラジエーター関連

ラジエーター、サーモスタット、ラジエーターキャップ、ラジエーターホースの変更は認めます。水温計水温計センサーを取り付けるためのラジエーターホースへの加工もOKです。ラジエーターファンを強制的に作動させるON/OFFスイッチの装着も問題ありません。

1-5 オイルクーラー関連

オイルクーラーの装着は認めますが、フィルターを移動する場合は安全な位置でなければいけません。油温計や油圧計のセンサーを取り付ける加工、オイルパンの容量アップやバツフル加工も安全であれば認められます。

1-6 バッテリー

バッテリー位置の変更は認めますが、重量に耐えうる台またはホルダーを使い、確実に固定してください。室内に移動する場合は、ドライバッテリーを除き金属板で隔壁しなければなりません。容量および取り付けブラケットの変更も可能ですが、ボディにアースされていない側の端子(+)は短絡を避けるため、確実な方法で絶縁することを忘れずに。

1-7 ECU

FM・・・燃調コントローラーなどサブコンの追加装着は許されますが、純正ECUの書き換えやフルコンの装着は認められません。
EX・・・フルコンを含めて変更が認められます。

1-8 点火系

ハイテンションコードやプラグの変更、またアーシングなど点火系パーツの装着は認められます。同時点火への変更も可とします。

1-9 燃料系

燃料タンクの加工、コレクタータンクの装着はすべて認められません。インジェクター容量や燃料ポンプ吐出量の変更も不可です。

1-10 吸気系

エアクリナーボックスやパイピングの変更が認められます。エアクリナー本体は剥き出し、純正交換のどちらでも構いません。耐熱パンテージや導風板の装着もOKです。

1-11 排気系

排ガスや音量など、保安基準に適合する範囲内であれば、マフラーやエキマニを自由に変更できます。触媒は必ず装着してください。

□ ブレーキと足まわり 最低地上高は9cmを確保すること

2-1 ブッシュ類

強化品への変更が認められます。

2-2 スプリング

自由長やレートの変更は自由ですが、レース後に実施する公道走行チェックの際は、9cm以上の最低地上高が確保されており、縦方向に遊びがない状態でなければなりません。

2-3 ダンパー

倒立式や別タンク式を含めて、変更が認められます。材質は自由で、減衰力を室内から調整するコントローラーも使用できます。

2-4 サスペンションアームなど

調整式サスペンションアームなどの使用は認められますが、取付け位置の変更や加工はすべて不可とします。また、調整式のピロアッパーマウントも使用できます。

2-5 制動装置

ボルトオンで装着可能なブレーキパッド/ローター/ホース/キャリパー/マスターシリンダーなどの変更が許されます。またバックプレートの取り外しは認められません。

□ 駆動系 入門クラスは機械式LSDナシ

3-1 クラッチ

ディスク/カバー/ホースの変更がOKです。

3-2 トランスミッション

FM・・・ファイナルギヤを含め、変更および加工が認められません。

EX・・・ファイナルギヤを含め、変更が認められます。

3-3 ディファレンシャル

FM・・・機械式LSDの使用は認められません。

※純正ビスカス/トルセン/ヘリカル式LSDは使用できます。

EX・・・機械式LSDの使用が認められます。

□ タイヤとホイール 入門クラスは2ndグレード限定

4-1 タイヤ&ホイール

タイヤ&ホイールを変更する場合は、下記の要件をすべて満たさなければなりません。

- タイヤサイズは自由ですが、4輪は同一のサイズとします。
- ホイールのオフセットは自由で、4輪とも同一である必要はありません。
- ホイールナットの材質および形状の変更は許されます。
- タイヤへの加工は認められません。
- ホイールスペーサーはハブボルトに固定できるタイプのみ認めます。
- タイヤおよびホイールはいかなる場合も他の部分と接触してはいけません。
- レース終了後を含め、スリップサインが出てはなりません。

4-2 使用タイヤ

タイヤは市販ラジアルのみ、Sタイヤおよびスリックタイヤは禁止。またフレッシュマンクラスでは、以下に挙げるタイヤを使用できません。なお、エキスパートクラスは、すべての市販ラジアルタイヤを使用できます。

フレッシュマンクラスで使用禁止のタイヤ

- ブリヂストン:ポテンザRE-11/RE-01R/RE-01
- ヨコハマ:アドバン・ネオバAD08/AD07/AD06
- ダンロップ:ディレッツァZ1スタースペック/Z1、フォーミュラRSV
- トーヨー:プロクセス(トランピオ)R1R
- ファルケン:アゼニスRT615/RT215
- グッドイヤー:イーグルRSスポーツ
- クムホ:エクスタV700
- ハンコック:ヴェンタスR-S3
- フェデラル:595RS-R

※上記のタイヤ以外でも、年代に関わらずいわゆるトップグレードのハイグリップラジアルは禁止とします。また、使用できないタイヤは追加になる可能性があります。

□ ボディ お金のかかるスポット増しは禁止

5-1 ボディ補強

ボルトオン補強バーなどを取り付けることは認められますが、スポット増しを始め溶接などによるボディ補強はすべて禁止です。

5-2 ロールゲージ

6点式以上のロールゲージの装着を強く推奨します。ロールゲージは確実な方法で固定しなければなりません。ピラー止め用のブラケットなどを除き、溶接による取り付けは認められません。ロールバーパッドは通常車検をクリアするように装着して下さい。またオープンカーは6点式以上のロールゲージを義務付けとします。さらなる安全性向上のため、サイドバーの装着も推奨します。

5-3 モノコック

モノコックの変更および改造は認めません。

5-4 軽量化

6点以上のロールゲージの装着していない車両は車体重量をイコールコンディションに近づけるため以下のルールが適用されます。

- ボンネットやリヤゲートなど、軽量ボディパーツの使用を禁止します。
- レース中に助手席や後部座席を取り外してはならず、さらに助手席は純正またはセミバケットシートを装着しなければなりません。
- レース中もスペアタイヤを搭載しなければなりません。

□ 外装 軽自動車のボディ幅を超えてはダメ

6-1 自動車登録番号標(ナンバープレート)

レース中でも取り外しは認められません。ただし、位置を移動するだけならOKです。

6-2 空力装置(エアロパーツ)

保安基準に接触しない限り問題はありませんが、ボディ幅が軽自動車のサイズを超えるフェンダーなどは認められません。たとえ構造変更を行ったとしても禁止とします。

6-3 ガラス

フロントガラスを変更する場合は、新車時に装着されていたものと同じ合わせガラスに限り認めます。アクリルガラスの使用はフロント・サイド・リヤとも認められません。フロントおよびフロントサイドガラスへの塗装、色付きフィルムの取り付け、ステッカーの張り付けはすべて認められません。サイドおよびリヤガラスは保安基準に抵触せず、かつ視界の妨げとならない限り、色付きフィルムやステッカーの貼り付けを認めます。

6-4 ボンネットおよびリヤゲート

6点式以上のロールゲージ装着車に限り、安全な範囲での変更および加工が認められますが、ボンネットピンなど確実な方法で固定してください。リヤゲートのダンパーはガスを抜き、ピンで固定することを推奨します。

6-5 ミラー

室外ミラーの変更を認めます。

□ 内装 安全性と快適性を損なわないように

7-1 エアコンおよびヒーター

エアコンおよびヒーターの取り外しは認められず、いかなる場合においても正常に作動しなければなりません。

7-2 補助メーター

電気式メーターに限り、追加メーターを装着することが認められます。ただし、純正メーターは当初の機能を保持していなければなりません。取り付け方法と位置に関しては、乗員の保護と視界の確保をして下さい。

7-3 座席

バケットシートへの変更を認めます。ただし、シートを車体フレームへ直に取り付けスライド機構がないものは認められません。また、6点式以上のロールゲージ装着車は、レース中は運転席を除くシートを取り外せます。

7-4 ステアリング

ステアリングボスを含め、保安基準に抵触しない範囲での変更が認められます。なおエアバッグ付き車両は、レース中はエアバッグコンピューターのコネクターをはずし、作動をキャンセルさせなければなりません。

7-5 シートベルト

シートベルトは確実な方法で装着しなければならず、シートレールへの共締めは禁止。

FM・・・3インチ幅で4点式以上のシートベルトを強く推奨します。

EX・・・4点式以上のシートベルトの装着を義務付けします。

※純正の室内ミラーに被せるタイプのミラーは、走行中に限り取り外してください。